

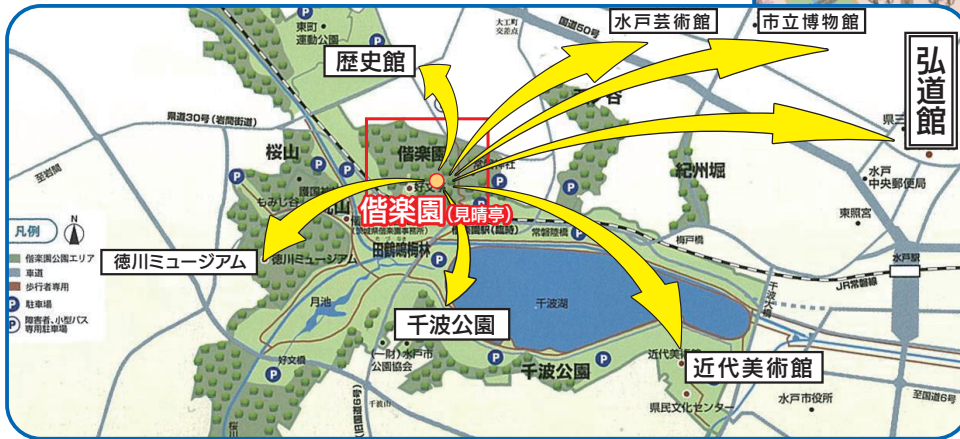
日本三名園の1つ「偕楽園」の魅力アップ

— 見晴亭整備により更なる観光客の回遊を促進 —

平成26年2月 偕楽園内(東門付近)に
おもてなし施設「見晴亭」を整備

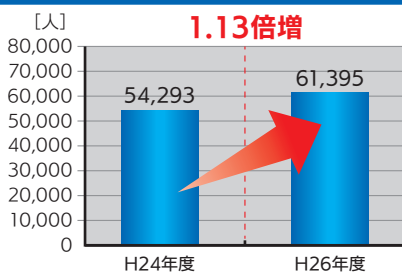
◆観光情報の発信により回遊を促進

- ・見晴亭は観光客をおもてなしするための施設として休憩所・売店・案内所などの複数の機能を備えている。
- ・平成27年4月に偕楽園及び弘道館は、近世日本の教育遺産群の主要な施設として日本遺産に認定され、周辺文化施設との連携や回遊性向上が求められている。
- ・周辺の見どころの情報を発信し、偕楽園からの回遊を促すことで、本県の観光振興に大きく寄与している。

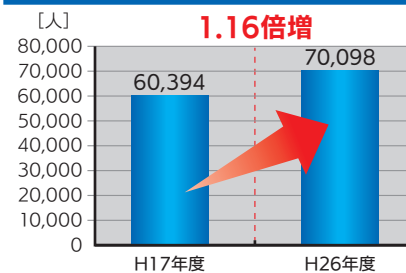


見晴亭の整備後、偕楽園周辺の文化施設の来館者数が増加

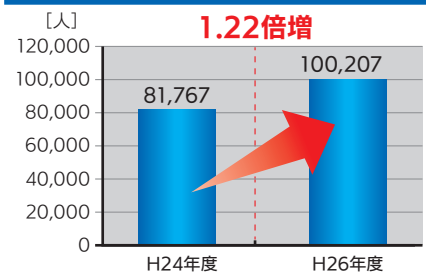
弘道館来館者数



近代美術館来館者数



歴史館来館者数



▲店内には観光パンフレットも多数そろそろ。

見晴亭は観光案内所や休憩施設の機能を持ち、東門からの多くの来園者が立ち寄りやすくなります。日本遺産認定を受け初めて来園される方も少なくありません。思っていたより良いところですね。周辺の見どころは「周辺で食事できる」ところはなどの声をいただきます。茨城県は意外と知られていないのです。近くには弘道館、県内にもたくさん見どころがあるのにも、と思うこともしばしばです。こんなルートで足を運んでください、こを特にみてくださいと言葉にも力がはいります。ここは茨城の玄関口ともいえます。リピーターを増やしたい、おもてなしの心でインフォメーション機能を果たしていきたいです。



見晴亭 店長 服部 正明氏

茨城の玄関口
新たな情報発信拠点に